

奇跡のバトンタッチ

平成26年3月28日。西新宿にある落ち着いた雰囲気のレストランにて、17期生のAさんは、卒業後働き続けてきた9年のキャリアにピリオドを打った。主にサラダバーを担当したAさんの、特に葉野菜へのこだわり、盛り付けに対する気遣いは頭の下がるものがあり、職場の皆さんからも一目置かれていた。そんなAさんは、数年前から緩やかな転職希望を抱いていた。事務系の仕事に就いてみたい、その純粋な思いは歳月と共に少しずつ確かなものへと育っていった。そこで、職場にその旨をご相談したところ、全面的にご理解いただき、転職決定までの職場の確保と、心からの応援を約束していただいた。そして、更には、Aさんの後任を26期生の後輩Bさんに繋ぐことをも許可していただいた。本社人事担当者の柔軟なご対応と現場の皆さんの深い思いやりには、ただただ感謝である。しかし、これは全てAさんが誠心誠意仕事に専心してきたことによるものであり、9年間をキャリアとして終えることができたことが大きい。Aさんの勤務最終日、過去の同僚も駆けつけてくれ、労いの固い握手を交わす光景を眩しそうに見つめていたBさん。先輩からのバトンを確かに受け取っていた。

※4月より、Aさんは新しい事務系の会社で、Bさんはイタリアンレストランで、それぞれ順調に働き始めています。